

# 酪農学園と連携、マレーシアへ協力隊派遣

## 酪農学園大学と JICA 海外協力隊連携派遣覚書に署名

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（北海道センター 所長：阿部裕之、以下：JICA 北海道）は、学校法人酪農学園大学（学長：岩野英知 以下：酪農学園大学）と 4 月 24 日 10 時より、酪農学園本館 4 階第一会議室にて大学連携ボランティア派遣に合意、覚書の署名式を行います。取材へのお越しをお待ちしております。

JICA 北海道では 2023 年度協力隊連携派遣の募集を行ってまいりましたが、この度酪農学園大学からの応募が採用されることとなりました。

これまで酪農学園大学と JICA 北海道は JICA 海外協力隊派遣や技術協力事業、草の根技術協力といった様々な事業を通して途上国への支援を行ってまいりました。今回覚書を締結する JICA 海外協力隊連携派遣事業では東マレーシア ボルネオ島に位置する SAFODA（サバ州森林開発公社）キナルート・エコ・フォレストパークに林業・環境保全／環境教育／生態調査にかかる支援を目的として酪農学園大学の卒業生等を派遣するものです。



【写真】マレーシアで予定される活動イメージ

### JICA 海外協力隊派遣概要

1. 対象国：マレーシア
2. 配属先：サバ州森林開発公社（SAFODA）キナルート・エコ・フォレストパーク
3. 職種：林業・環境保全／環境教育／生態調査
4. 実施期間：2024年4月24日～2030年3月31日
5. 想定派遣人数：長期4名、短期10名（1名/回×10回）
6. 案件の目的、実施期間中に達成される成果、活動内容：

森林管理、野生動物管理、GIS（地理情報システム）、人工衛星画像解析（リモートセンシング）、GPS を専門的に学んだ学生や卒業生等を派遣することにより、大学がこれまで実施した草の根事業の経験と技術を活用した協力を行う。

これにより、先端的な ICT を活用した科学的、定量的な自然資源評価が可能となることを目指す。また、カウンターパートのみならず、地域住民の環境保全意識を高めつつ、植

林活動等によるエコツーリズムの実施により、地域経済の振興に寄与する。

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICAは、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道 市民参加協力課 深澤 晋作
TEL : 011-866-8421 e-mail : Fukazawa.Shinsaku@jica.go.jp